

第 67 回卒業式 同窓会会長挨拶

皆さんおはようございます。

ご紹介いただきました同窓会会長の久保でございます。

卒業生の皆さん、ご父兄の皆さんご卒業おめでとうございます。

いよいよ同窓会のメンバーとして迎えさせて頂くことになりました。

3年前の入学式の際にも、お祝いの言葉をさせて頂きました。

その際に同窓会が、在校の現役にもいろいろな支援をしているといった、お話をさせて頂きました。

これからは同期、先輩を含めた同窓会メンバーとして活動に参加して頂きたいと思います。

同期会、クラス会などの開催には同窓会から色々な支援をさせて頂いています。

同窓会としては毎年、同窓会の総会や都立高校を集めた校歌祭などのイベントを開催しています。これらのイベントに合わせて、同期会などを開催して同窓会のアクティビティーにも参加いただけるようお願いをしています。

また、毎年同窓会機関紙”きずな”を発行していますが、これをお送りすることになります。これは同窓会会員間の絆をつなぐ大切な情報源です。

そのためには住所を正確に把握させて頂かないといけません。若い時代は頻繁に転勤などで住所が変更される場合が多いでしょうが、同窓会の HP 上で住所変更の連絡をして頂ける体制ができています。是非、変更があった際には、こまめに住所変更届を出すようにしてください。

同窓会はおおよそ 5 年毎に名簿を発行しています。名簿は個人情報保護法の制定以来色々な議論がされています。また、振り込め詐欺などの問題の一つの要因とも言われていますが、同窓会会員の最も基本的な情報源であることから、継続的に発行していこうと思っています。

勿論、皆さんの名前も収録していきます。名簿の悪用を防ぐためにも管理は大切です。

名簿の管理は同窓会メンバーやその家族の方々にもお願いしないといけません。

とはいえ名簿をうまく使って、同窓会を通じた絆をつないでいて頂きたいと思います。

さて、入学式の際に私は 17 期で、みなさんは 67 期ですから 50 年の差があるというお話をしました。今年は私たちの 17 期が卒業して 50 周年になる年です。50 周年記念の同期会を計画しているところです。私たちの時代は 1 クラス 50 名で 7 クラスありましたから、卒業同期は 350 名いました。その後、団塊の世代が入学し、もっと数の多かった時期もあり、また、少なくなった時もありました。今は 40 名クラスですから 280 名の卒業同期がいるころになりますね。

同期も 50 年たつと残念ながら、どんどん抜けて行ってしまうのは世の常です。私の同期は、今では 1 クラス分相当の人が抜けてしまいました。50 年間に何回も同期会、クラス会をしてきました

が、折々の状況で様子も変わってきますね。同窓会は、同期会を開催していただく学年にはいろいろな補助をしていますから、HP 経由でもいいので同窓会に連絡してください。今は一人も抜けることもなく同窓会に参加して、同期の絆を確保してください。

皆さんの最大の武器は、若さです。それに加えて同窓会の絆を後ろ盾にして、大学で、社会で大活躍してください。そのためにも、同窓会の絆を大切に、うまく使ってください。

皆さんが 50 年後に 50 年記念の同期会を開くとともに、この中のどなたかが同窓会会長として、この場で挨拶をしている方が出てくることを期待したいと思います。50 年後は世の中が、どうなっているかは、このテンポの速い時代では予想は難しいですが、最も確実性の高い予想は、人口予測と言われています。50 年たつと間違いなく日本の人口は今よりもかなり減ってしまっているはずです。入学生も少なくなってしまうかもしれませんが、同窓会の会員は現在 25,000 名弱で、280 名ずつの卒業生が出てくれば、50 年で 14,000 名増えることになりますから 39,000 名程度となっているはずです、その頃に、創立 125 周年になっていると思います。その時には是非、125 周年記念で盛り上がってください。

いろいろお話をさせて戴きました。同窓会の活動にこれからは是非積極的に参加いただくことが一番の願いです。お願いばかりでしたが、お祝いの言葉に代えさせていただきます。

おめでとうございます。

平成 27 年 3 月 7 日
東京都立石神井高等学校同窓会
会長 大久保利一